

中津市教育委員会アクションプラン

目標及び指標

【目標】

- 全国学力調査等で、全国平均を超える学校の増加
- 意欲的に学習に取り組む児童生徒の増加
- 学校図書館活用が進み、読書(新聞含む)に取り組む児童生徒の増加

達成指標	取組指標	学力向上推進協議会月1回実
<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力調査・県学力調査 全教科で全国平均を超える学校 小学校10校、中学校5校 ○学力調査国語B問題 市平均が全国平均を超える。 ○学力調査数学B問題 市平均が全国平均 -1p以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上支援教員、習熟度別指導推進教員による、モデル授業公開 各3回以上 ○補充学習教材として「Bスタイル問題」学期に2回配布 ○『なかつ学通信』月2回以上発行 ○校内授業改善進捗状況調査、学期に1回 	
<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒質問紙調査 意欲的に学習に取り組んでいる割合80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期に1回以上アンケート実施 	
<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒質問紙調査 読書(新聞含む)によく取り組む割合60%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校司書連絡協議会月1回実施 ○司書教諭等、学校司書、読み聞かせグループ合同研修会 年1回実施 ○学校図書館活用授業実施 各校1学期に2回以上 	

行動計画

① 授業改善に関する行動計画

ア 学校全体で取り組む授業改善に向けて(管理職による授業改善の推進は必須、小学校における教科担任制の推進を含む)

- 中津市授業改善推進事業(7期に分けてPDCAサイクルを回す。)
 - ・指定研究校(3中学校・・・豊陽中、緑ヶ丘中、中津中 1小学校・・・豊田小)
 - ・指定研究推進校(2中学校・・・城北中、東中津中 2小学校・・・山口小、三保小)
- 中津市学力向上推進協議会(月1)
 - ・学力向上支援教員、習熟度別指導推進教員、研究推進アドバイザー(研究推進校より)
- 中津市授業研究会にて公開(年2回)

イ 習熟の程度に応じた指導の充実に向けて(補充指導の充実を含む)

- 習熟度別指導モデル校
 - ・中学校4校(数学・・・三光中、耶馬溪中 英語・・・緑ヶ丘中、中津中)
 - ・小学校1校(算数・・・如水小)
 - ・アドバイザー校(豊田小、今津小)

ウ 司書教諭等を核とした学校図書館を活用した指導体制の確立に向けて

- 学校司書連絡協議会(月1)を核とした学校図書館活用指導体制の確立
 - ・司書教諭を中心とした教諭と学校司書、読み聞かせボランティアの協働体制の充実
 - ・モデル校(山口小)の取り組みを還流、検証システムの確立
 - ・学校図書館活用を手立てに、児童生徒につけたい資質・能力の体系化

エ 市町村の教科部会を活用した授業改善に向けて(特に中学校)

- 中津市教育課程研究協議会の質の向上
 - ・中学校国語部会、数学部会、社会科部会と、学力向上支援教員、習熟度別指導推進教員の連携
 - ・小中合同部会の開催(1回)・・・中学校の授業改善には、9年を見通したカリキュラム編成

② 学びに向かう学校づくりに関する行動計画 (幼保小の連携・小中連携を含む)

- 学びに向かう中核校からの発信
 - ・指導教諭、学力向上支援教員、生徒指導主任の連携(社会科、特別活動を中心に教科横断的な単元構想)
 - ・城北中ブロック内連携(城北中、北部小、南部小)・・・社会教育課との連携
 - ・研究推進校、学力向上支援教員配置校としての位置づけ
 - ・研究主任会議等で発表(年2回)
- 小中連携モデル
 - ・豊陽ブロック内の豊田小、沖代小、豊陽中 対象
 - ・国語科を中心に言語活動の充実・言語能力育成の視点で、能力系統表・カリキュラム編成・実施

③ 保護者・地域と連携した学力向上の取組に関する行動計画

ア 放課後や土曜日の教育環境の充実

- ・1年を3つの期間に分け、各中学校において毎週水曜日放課後の1時間、「学びのススメ英検塾」を実施する。地域のNPO法人から講師を派遣し、英検受験指導並びに英語学習の補習とする。(長期休業中は除く)
- ・1年を2つの期間に分け、市内2カ所において隔週土曜日、地域のNPO法人から講師を派遣して、「中学生ステップアップ講座」を実施する。国語、数学、英語をベースとして、論理的に自分の考えを発信する学習を行う。ディベート大会、英語スピーチ大会などを開催し、学習の成果を認め合う。
- ・春休み中に、「学びのススメ塾」として地域のNPO法人から講師を派遣し、小学校は国語・算数、中学校は英語・数学の補充学習を行う。夏休み・冬休みは各学校の教職員が中心となって補充学習を行う。必要に応じて、地域のNPOから講師や採点等の補助を行う教育ボランティアを派遣し、補充学習を支援する。

④ その他

- 中津ジュニア・グローバル・リーダー研修。
 - ・ガムの幼・小・中・高一貫校のサマープログラムに参加。
 - ・各中学校から1名の参加を基本とする。
 - ・9日間の研修中は、すべて英語でコミュニケーション。自律的な協同生活を送らせる。
 - ・研修終了後は、プレゼンテーション作成に挑戦し、学習成果をそれぞれの学校や、「中津わくわく英語ひろば」などで還流する。
 - ・研修と事前・事後の学習を通して、各学校でのグローバル人材の育成の弾みとする。